

令和7年7月14日

戸田市共創のまちづくり補助金事業報告書(SDGs応援事業補助)

(宛先)

戸田市長

団体名 和楽舞 WARAFU

代表者職・氏名

所在地

事業名	和楽舞らいぶ第四段 ボートレース戸田ミニステージ Riva
実施期間	令和7年4月4日 ～ 令和7年6月30日

1 事業の具体的内容及びSDGsの成果

1、事業の具体的内容の報告

【イベント内容】和楽舞ライブ 第四段

- ・日時 2025年6月15日(日) 12:20～15:00
- ・場所 ボートレース戸田ミニステージ Riva
- ・内容:15分のミニショーを5回開催 ※プログラム別添

出演者:和らふ真実、JPNdance 協会(藤村藤之輔、Ken 兄☆、桜ノ遊戯)、

陸葵太鼓、和楽ひまわり会(市内児童)

絵画出展:RYUKI&小楓

- ・観覧者:レース開催日の施設来場者、チラシを見た来場者
- ・協賛:市内企業7社、協力:3団体・個人
- ・告知:

①チラシ配布・設置合計4,700枚

〈詳細〉3小学校全児童チラシ配布(新曽北、戸田第一、美女木)、6小学校チラシ設置(戸田東、美谷本、笹目、戸田南、笹目東、芦原)、公共施設22か所(市内全域)、協賛企業店舗7か所チラシ設置、協賛外企業店舗3カ所チラシ設置、協力4カ所チラシ配布、町会掲示板掲示・チラシ配布協力(美女木4丁目町会、笹目南町町会)等

②SNS、メディア等のデジタルツール掲載

〈詳細〉戸田市公式 SNS への掲載、JPN dance 協会公式 HP への掲載、和らふ真実および協賛企業 SNS、出演者 SNS、Yahoo!ニュース記事掲載、地域 NEWS 号外 NET 戸田市・蕨市記事掲載

- ・運営体制:会員3名、出演・協力者22名
- ・費用:無料

2、SDGsの成果

SDGs3 すべての人に健康と福祉を

当初予定していた「きびなご体操」に代わり、和流エクササイズ「八木節」を観客席を櫓に見立てて参加型の盆踊りにしました。盆踊りに参加してくださった方もいたし客席で観ている方も手足を動かしたりと、健康に対する興味関心を高める一助になったと思います。

今回の事業によって、健康に対する興味関心が高まった方が、体を動かす楽しさを覚え、地域が少しでも健康になっていくことを期待します。

SDGs4 質の高い教育をみんなに

当初小学生への和の舞踊・文化に触れる機会を増やしたいとの考えで、小学5年生の国語の授業の題材の『浦島太郎』を令和版の舞踊劇にして「歌舞伎舞踊と和楽舞」で表現するなど、学校教育に提唱できる和の文化の創造を試みました。来場した小学生に、和の舞踊に触れる機会を提供できたと思います。

施設の特性上、モーヴィを利用したベビーカーを押すファミリーも、レースを楽しむ大人も、気軽に和文化に触れるきっかけになったと思います。

今回の事業をきっかけに、和の舞踊を身近に感じていただき、舞踊への敷居を下げることで、各自治会での盆踊りや、戸田音頭を含めた舞踊を、次世代に継承する一助にできたらと思います。

2 事業実施のスケジュール

月 日	内 容
4 月 28 日	出演者と構成演出打合せ
5 月 9 日	チラシの仕分け作業
5 月 12 日～5 月 15 日	チラシ設置等協力企業団体へお届け
5 月 21 日～6 月 5 日	計 4 回、出演者との稽古・打合せ
6 月 15 日	和楽舞らいぶ本番、出演関係者と懇親会

3 事業の実施体制

出演者：和らふ真実、JPNdance 協会(藤村藤之輔、Ken 兄☆、桜ノ遊戯)、
■、陸葵太鼓(■、■)、和楽ひまわり会(市内児童)

絵画出展：RYUKI & 小楓

協力：JPN dance 協会、日本舞踊藤村流、Ken 兄☆

応援：とめきちくん

協賛：(株)ナックプランニング、サンクジャパン株式会社、Fkower the Day、
菓創季乃杜、ECC ベストワン戸田笹目校、ククー、中国料理 verite

会場提供：戸田ボートレース企業団

主催：戸田市市民活動団体 和楽舞 WARAFU

4 反省点と課題

この度は戸田市役所共同推進課 様、戸田市市民活動支援センターTOMATO 様に大変お世話になりまして、本事業が成功しましたこと感謝申し上げます。

「子どもたちの未来に和文化の花を咲かせたい」を信念に掲げ、ご賛同いただいた協賛者様、協力者様、出演・出展者様に支えられて、和楽舞らいぶ当日も会場の皆様と一緒に楽しく盛り上がることができました。大成功です。

今回事業では、全演目を通して約530名の方にご観覧いただきました。

ボートレースを見に来た方他に、チラシを見て足を運んでくださった方、家族連れの方など様々な方にご観覧をいただき、子ども達以外にも和の文化に触れる機会を提供することができました。

引き続き、子ども達が和の文化に触れる機会を提供していく中で、今回の成功を踏まえつつ、子ども達が保護者の同伴無しで来場できる会場での事業の実施も検討できるとよいと思いました。

多くの関係各位のご協力を賜り、本事業が和文化の未来の可能性を知ってもらえる活動となりましたこと、皆様に感謝申し上げます。

□収支報告書□

【収入】

(円)

科 目		予 算 額 ①	収 入 額 ②	比 較 (②-①)	内 訳
補 助 金・ 助成金	当補助金	50,000	50,000	0	
	その他				
自己資金		3,680	921	△2,759	
会費（参加費等）		0	0	0	
利用者負担金（売上等）					
協賛金・寄附		46,000	14,000	△32,000	
その他		7,000	0	△7,000	
合 計		106,680	64,921	△41,759	

【支出】

(円)

	科 目	予 算 額 ①	支 出 額 ②	不用額 (①-②)	内 訳
補助 対象 経費	謝礼金	30,000	30,000	0	JPN dance 協会
	消耗品費	4,000	955	3,045	文具、腕章等
	食糧費	20,000	8,818	11,182	和菓子代 6,480 円 お茶代 2,338 円
	印刷製本費	9,680	11,398	△1,718	チラシ、ポスター印刷代
	賃借料	20,000	13,750	6,250	衣装レンタル代
	小 計	83,680	64,921	18,759	※支出額内訳 補助金充当額：50,000 自主財源：14,921
補助 対象 外 経費	消耗品費	10,000	0	10,000	
	印刷製本費	3,000	0	3,000	
	小 計	13,000	0	13,000	
合 計		96,680	64,921	31,759	